

東京体育学会 第4回学会大会

口頭発表

大日本バスケットボール協会の設立に関する史的考察

李想白を基軸として(昭和5年)

及川 佑介*

昭和5年9月30日午後5時30分に東京YMCAで大日本バスケットボール協会の創立総会が開かれた。出席者は9名の発起人(李想白, 富田毅郎, 浅野延秋, 田中寛次郎, 野村瞳, 松崎一雄, 小林豊, 妹尾堅吉, 鈴木重武)を含む約40名であった。別室には当総会で創立決議して直ちに発表するため新聞記者を呼んでいた。そして, 大日本バスケットボール協会は昭和5年10月1日正午に東京YMCAで設立の声明を出した。この声明から, 新たに設立された大日本バスケットボール協会は, 全日本選手権競技会競技規則の制定, 競技の指導, バスケットボールに関する年報の発行, を事業の主軸に置いていた。本協会は, 前体制に反発する形で創られ, 周囲からはなぜ東京近郊の大学出身者のみで創るのか。などという非難の声もあった。本研究では, 大日本バスケットボール協会の中心的役割を担っていたと考えられる李想白の立場から協会の設立について検討する。

* 国土館大学大学院スポーツ・システム研究科